

メッセージアウトライン 2018年7月22日(日) 「キリストへ導くための養育係」

聖書箇所：ガラテヤ3：22～29

タイトル：「キリストへ導くための養育係」

テーマ：イスラエルの民は神の民として、モーセの律法を与えられ、それに従って生きることが祝福だと言われました。一方、異邦人はモーセの律法を持っていません。この両者が、イエス・キリストに辿り着くために、イスラエルの民には律法を、異邦人にとっては心に記された良心を神は用いられました。イスラエルの民も異邦人もイエス・キリストを信じる以外に救われる道はないのだとお示しになるためでした。

あなたはどのようにして、イエス・キリストのもとに来ることが出来たのでしょうか。何があなたをキリストに導いてくださったのでしょうか。今日の聖書箇所から調べてまいりましょう。

1. はじめに

①文脈の確認

2. 「信仰（イエス・キリスト）」が現れる以前

①イスラエルの民にとっての律法（ガラテヤ3章）

②異邦人にとっての律法（ローマ2：14、15）

「律法を持たない異邦人が、生まれつきのみで律法の命じることを行う場合は、律法を持たなくても、彼ら自身が自分に対する律法なのです。

彼らは、律法の命じる行いが自分の心に記されていることを示しています。彼らの良心も証ししていて、彼らの心の思いは互いに責め合ったり、また弁明し合ったりさえするのです。」

*パウロは律法を持たない異邦人に与えられている「良心」が、律法の役割を果たしていると言っている。

*神のかたちに造られて、神に反逆してそのかたちが損なわれたものの、人間は道徳的判断ができる存在だということ

③善を行うことを妨げるもの——罪の性質

3. 私の体験から

4. 「罪」と「罪責感」

①罪——神が良しとなさらないこと

罪責感——罪を犯した人間が感じるもの

②罪責感を薄める方法

5. 結論

①信仰に至る道

*教会への導かれ方

*なぜイエス・キリストを信じたのか